

北斗市へのふるさと旅行 顛末記

ふるさと旅行幹事

東京北斗会事務局 池田喜久雄

この度のふるさと旅行に際まして、北斗市高谷市長 滝口副市長 澤村市民部長 今村市民課長 市民課 皆様 石川部長、観光課の皆様 他北斗市役所の皆様には大変お世話になりました。初日の北斗駅での歓迎会 アンビックス上磯での懇親会 北斗市バスでの市内観光等 又各個人への記念写真の配布など、幹事として重ねて厚く御礼申し上げます共に、この旅行の顛末を下記に述べていきます。

「えっ、則さんやっぱりやるんですか、」と私が佐藤副会長の顔をみたのは、昨年11月頃の事でした。「やるんだよ、池田君、せっかく新幹線が通るのだから、それに乗ってふるさと旅行しなきゃ」それが始まりでした。

まずは3月26日始発電車に乗って、訪問する案もありましたが、切符の手配が難しい事と北斗市役所も行事に忙殺されている様で、多少落ち着いてからの実施となりました。その後2月に6月24、25日と日程も固まり、宿泊の段取りにはいりました。北斗市との行事なので市内で收容人員のある「しんわ温泉」予約しましたが、その時点で既に埋まっており予約はできませんでした。

その後、まずは旅行会社の選択と思い、新幹線で行くならそれに強い「びゅう」であり、5%割引も可能とみて、何事も面談して物事をすすめる事を営業の経験から信条としている私としては、早速品川店を訪問しました。しかし団体は扱ってません、団体支店へ行って下さいと軽くあしらわれました。新日本橋の目立たないところにある団体支店を訪問し、副支店長と面談でき、あらかたの要望を打ち出し、理解してもらいました。何せ、この旅行は団体でかつ1泊目は同一に宿泊しても2日目は自宅とか湯の川温泉、帰る日もバラバラ希望との事。いろいろ融通きかせろと幹事の一部からの声もあり、久々のふるさと旅行なので皆様の



希望通りと腹を決めてかかり、それを先方が感じたのかなと思います。

その様な中、幹事会で案をまとめ、ラビスタ函館1泊40500円打ち出したところ、これが安かったのか、応募が結構ありました。(ラビスタ函館は東京で人気のホテルで、ツアーにはあまりはいってないらしい)あとで「びゅう」に確認したら、ラビスタ函館に強いとの事で47名分おさえてくれました。後は佐藤副会長を中心に地区幹事を決め、皆さんフル稼働で動いていただき、すすんでいきました。特に上磯担当の外山さんはきめ細かく対応していただきました。私の仕事は宿泊ホテルと新幹線の切符の手配、北斗市とのすり合わせの目途がつけば、ほぼ完了でした。その後地区担当幹事の尽力もあり、スタートしていきました。

驚きは北斗市の歓迎のすごさです。予想はしてましたが、現実にお世話になると懇親会、バスガイドから昼食段取り、バスの限りなく自由な運用等、深く感謝します。

今回は高齢の方で、夫妻での参加が多かったです。いろいろ聞いて見ますと、新幹線が開通ししばらく親戚も訪問してないので、新幹線で行こうと思っていましたが高齢の事もあり、なかなか踏切りがつかず、案内がきて参加しました。との声がありました。そのような話を頂くと地区幹事含め段取りした甲斐があります。

又旅行中幹事として市役所の方と話す機会が多かったのですが、それを見てか、参加者から池田さんは市役所のどちらにお勤めですかと聞かれました。私は千葉在住の東京勤務、千葉都民です。会員の皆様よろしくお祈りします。又皆様と総会でお会いするのを楽しみにしています。参加した皆様ありがとうございます。

北斗市と参加の皆様への御礼にて顛末記を閉めたいと思います。



編集後記 東京北斗会の会報は、5年に1回発行している「磯の香」があります。今回の「ふるさと訪問旅行」をきっかけに、これからは年1回広報を発行していこうと、幹事会で提案がありました。「ほっきがい」のように、味のある広報にしていきたいと思います。今後とも、よろしくお祈りします。

